



2

# きれいな羽<sup>はね</sup>



森の学校に、きれいな羽<sup>はね</sup>をもった

くじやくが 転校<sup>てんこう</sup>してきました。

「くじやくさん、きれいな羽<sup>はね</sup>を

見せてちょうだいよ。」

「ぼくの 言<sup>い</sup>うことを、きいてくれるなら

いいよ。」

しゃしんを  
見てみよう



12-1

大人気のくじやくは、きれいな羽はねが あれば、  
いつでも 友ともだちができると とくいに  
なっていました。ところが しばらくたつと、そばには  
だれもいません。

(きれいな羽はねが あるのに、どうしてだろう。)

くじやくは 考かんえましたが、よく分わかりません。  
遠足えんそくの日の 羽はねが ことです。

目じるしになるので、くじやくは、先生に 先頭せんとうの

12-2

13-1

やくめ  
役目を たのまれました。

うし  
後ろを 気にしたり、あぶないところを

おし  
教えたりして、先頭せんとうは大いそがしです。でも、

みんなのために がんばりました。

しばらくすると くまさんが、くじやくのかわりに

あぶないところを 教えおしてくれました。きつねさんは、

れつを 直なおしてくれました。くじやくの まわりには、

たすけてくれるなかまが いっぱいです。



「くじやくさん、おかげで、<sup>たの</sup>楽しい  
<sup>えんそく</sup>遠足に なったよ。」

「みんなのおかげだよ。」

たすけてくれて ありがとう。」

つかれて <sup>はね</sup>羽は

よれよれになっただけけれど、なかまに

かこまれたくじやくは えがおで <sup>い</sup>言いました。

(文 編集委員会 / <sup>え</sup>絵 よしざわけいこ)